

【別表1】 第3期知床半島エゾシカ管理計画 計画期間中のスケジュール

		第3期				
		2017 (H29) 年度	2018 (H30) 年度	2019 (H31) 年度	2020 (H32) 年度	2021 (H33) 年度
特定管理地区 (知床岬)		○個体数調整 仕切り柵を用いた銃猟による個体数調整を実施する。				○結果の評価 ○第4期に向けた管理方針の検討・取りまとめ
		○モニタリング エゾシカ越冬数の把握及び植生調査を実施する。				
エゾシカ A地区	高山帯	○モニタリング 高山帯の希少種(シトコスミレ等)の採食状況等について調査を実施する。				○結果評価 ○第4期に向けた管理方針の検討・取りまとめ
	ルシヤ	○モニタリング エゾシカ季節移動及び越冬数の把握、植生調査等を実施する。				
エゾシカ B地区	ルサー相泊	○個体数調整 ルサー相泊地区においては、道路の維持管理状況と捕獲効率との関係に留意。船上からの捕獲等、新手法を検討し、実施する。				○結果評価 ○第4期に向けた管理方針の検討・取りまとめ
	幌別-岩尾別	○モニタリング エゾシカ越冬数の把握及び植生調査を実施する。				
隣接地域		○個体数調整 コミュニティベースの個体数調整の活用等、持続可能な管理体制の構築のための方策を検討する。				○結果評価 ○第4期に向けた管理方針の検討・取りまとめ
		○モニタリング				
計画の見直し		管理計画の実施状況について評価しつつ、管理計画の基本方針について、見直し・検討を進める。			○第4期管理計画策定に向けた検討	○第4期管理計画策定
ユネスコ/ IUCN現地調査 報告書の勧告 への対応		○植生指標 モニタリングを実施するとともに、その評価に関する検討を進める。				○結果評価 ○植生の管理目標に関する検討

第3期知床半島エゾシカ管理計画のモニタリング項目(平成30年5月25日見直し)

No.	評価項目	実施主体	モニタリング項目	目的・内容	調査地	計画期間					
						2017	2018	2019	2020	2021	
V01	植生	詳細調査(調整地区+ルシヤ)	環境省	簡易的な手法による指標種の回復量調査	個体数調整地区におけるシカ採食圧の把握と植生回復状況を把握するため、森林植生・草原植生に固定調査ラインを設定し、指標種の開花株数等のモニタリング調査を毎年実施する。	知床岬・ルサ-相泊・幌別-岩尾別(・ルシヤ)	○	○	○	○	○
V02			林野庁	植生影響調査(森林植生、草原植生)	個体数調整地区におけるシカ採食圧の把握と植生回復状況を把握するため、固定調査区のモニタリング調査を行う。森林植生は、林床・稚樹・下枝調査を隔年、毎木調査を5年間隔程度で実施する。草原植生は、隔年で実施する。	森林植生:知床岬・ルサ-相泊・幌別-岩尾別(・ルシヤ)	○		○		○
V03			環境省			草原植生:知床岬・幌別(フレペの滝)(・ルシヤ)	知床岬ルシヤ	幌別	知床岬	幌別ルシヤ	知床岬
V04			林野庁	植生保護柵を用いた回復過程調査(森林植生、草原植生)	植生保護柵の配置・規模の検討、個体数調整後の推移の予測のため、個体数調整地区に設定した保護柵内外の植生調査を行い、植生の回復状況などを把握する。現在森林調査区3か所(知床岬・幌別・岩尾別)、草原調査区3か所(全て知床岬)が設置されている。知床岬・幌別の森林調査区は林床・稚樹・下枝調査を隔年、毎木調査を5年間隔程度で実施、岩尾別は5年間隔程度とする。知床岬の草原調査区は10年以上が経過しているため、柵外は隔年、柵内は5年間隔程度のモニタリング調査とする。	森林植生:知床岬・幌別・岩尾別	知床岬幌別	-	知床岬幌別	-	知床岬幌別
V05			環境省			草原植生:知床岬		○		○	
V06			環境省	エゾシカ採食量と回復量の短期的な調査	エゾシカ許容密度(各越冬地での捕獲目標数)の検討のため、密度操作実験を行う越冬地にイネ科草本、ササの採食圧調査プロットを設定し、エゾシカの密度変化に対する植生の変化を把握する。知床岬は終了し、大きな変化があったときのみ再開する。	知床岬 ルサ-相泊 幌別-岩尾別	ルサのみ ○	- ○	- ○	- ○	- ○
V07		広域調査	林野庁	植生影響調査(森林植生)	半島全体におけるシカ採食圧の把握と植生回復状況を把握するため、ユニットごとの種組成・資源量・食痕率を把握する。固定調査区を設定し、5年間隔程度で立木および林床植生のモニタリング調査を行う。	全域の越冬地(標高300m未満)・標高300-600m	○	○	○	○	○
V08			環境省	植生影響調査(海岸植生)	半島全体における植生の長期モニタリングとシカ採食圧の把握のため、海岸植生の群落構造・食痕率を把握する。固定調査区を設定し、エゾシカの影響が見られる調査区等については概ね5年に1回、影響を受けない調査区については10年に1回程度モニタリング調査を行う。	全域の海岸植生				海岸(斜里側)	海岸(羅臼側)
V09			環境省	植生影響調査(高山植生)	半島全体における植生の長期モニタリングとシカ採食圧の把握のため、高山植生の群落構造・食痕率を把握する。固定調査区を設定し、エゾシカの影響を迅速に確認するための調査区(知床連山・羅臼湖)については概ね5年に1回モニタリング調査を行う。	全域の高山・亜高山植生	遠音別岳	連山	羅臼湖	知床岳	
V10			環境省		硫黄山の固定方形区にて、シレットコスミレの分布状況及び採食の状況を確認する。	硫黄山周辺(シレットコスミレ)	○(当面は毎年モニタリング)				
D01	エゾシカ個体数・個体数指数	詳細調査	環境省		知床岬(航空カウント=旋回撮影)	○	○	○	○	○	
斜里町 羅臼町 知床財団			エゾシカ主要越冬地におけるカウント調査	捕獲実施方法の検討(実施時期、捕獲数等決定)および捕獲事業の成果検証のため、主要越冬地においてライトセンサスや航空機からのカウント等を行い、個体数の増減傾向及び群れ構成等を把握する。	幌別-岩尾別・ルサ-相泊・真鯉(ライトセンサス・日中ロードサイトカウント)	○	○	○	○	○	
			知床財団・林野庁	エゾシカ間引き個体、自然死亡個体などの体重・妊娠率など個体群の質の把握に関する調査及びデータの蓄積	捕獲事業の成果検証のため、主要越冬地における捕獲個体及び自然死亡個体の年齢・性別・頭数を把握する。また、間引き個体の体重・妊娠率等を把握する。知床岬では状況が変われば調査を再開するが当面停止。	知床岬(自然死亡の把握困難) 幌別-岩尾別、隣接地域	○	○	○	○	○
D03		環境省	エゾシカ越冬群の広域航空カウント	植生保護柵の配置や個体数調整の実施等の検討のため、ヘリセンサスによる越冬群の分布・規模等を把握(半島規模の生息数推定も合わせて実施)する。次回は2020年度の実施を予定。それ以外の年は遺産地域内の10調査区のみ実施。	全域	遺産地域内	遺産地域内	遺産地域内	○	遺産地域内	
D04		環境省	越冬地エゾシカ実数調査	捕獲数の検討のため、越冬地全体、あるいは一部区域のシカを追い出し、実数を把握する。		⊖ 実施せず					
D05	環境省	エゾシカ季節移動調査	個体群管理に向けた地区区分設定のため、電波発信器等を用いて各越冬群の季節移動状況の詳細情報を把握する。	全域	ルシヤのみ	ルシヤのみ	実施せず				
E01	土壌浸食	詳細	環境省	土壌浸食状況調査	土壌浸食の実態及び原因を把握する。5年に1回とし、次回は2017年度に実施予定。	知床岬	○				
E02		広域	環境省 林野庁	土壌浸食状況広域調査	広域的な土壌浸食の発生場所、規模等を把握する。	全域	広域植生調査に併せて実施				
B01	生態系への影響	詳細調査	環境省	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況調査	エゾシカによる陸上生態系への影響を主に昆虫の生息状況によって把握する。(次回実施は2020年前後を予定)	知床岬・幌別・羅臼			⊖	○	
B02			環境省	陸生鳥類生息状況調査	エゾシカによる陸上生態系への影響を主に鳥類の生息状況によって把握する。(次回実施は2019年前後を予定)	知床岬		⊖	○		